

# とよやま

議会だより  
12月定例会  
No.143



「めでた めでた〜の ヨイヨイ」 豊山木遣保存会のみなさん  
(関連記事p16)

## トピックス

### 町民討議会議を訪ねて…P5

町のホームページから会議録がご覧いただけます  
[www.town.toyoyama.lg.jp/](http://www.town.toyoyama.lg.jp/)

 町議会 をクリック

- 12月定例会のあらまし ..... P2
- 質疑あれこれ ..... P4
- 7人が一般質問 ..... P6~P13
- 広報の研修に参加 ..... P14
- 追跡 どうなったあの質問 ..... P15
- 翔びたて豊山っ子! ..... P16



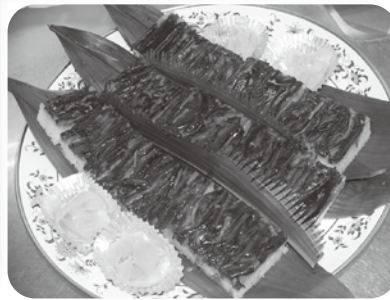
# ご当地グルメなど開発へ

## 郷土料理を継承する 新たなご当地グルメ の開発

# 250万円

町内の飲食店や家政学部を有する大学と連携し、「どじょう寿司」の要素を取り入れた新たなグルメやヒコーキのまちを表現する弁当など食の開発

今回、地方創生推進事業として8月に内閣府に申請した事業が、交付金採択されたことによる予算です。事業費600万円のうち、300万円が補助対象となります。具体的には、産業観光の振興を図るため3つの事業を予定しています。



## 12月 定例会の あらまし

12月定例会は、12月4日に招集され、18日まで開かれました。衆議院選挙に要する事業費の専決処分承認1件、道路線の認定1件、職員の育児休業等に関する条例の一部改正など条例改正7件、一般会計など補正予算9件、いずれも原案通り可決、認定しました。また、一般質問は7人が町政全般にわたる課題について質しました。

## 一般会計補正予算

7110万6千円を追加し、総額67億8394万4千円となった

おもな項目	補正額	補正の理由
電算システム委託料	931万円	介護保険電算システム 税番号制度・障害者総合 支援法改正にともなう システム改修
福祉医療事業	1866万円	障害者医療費・ 子ども医療費の増額
学校管理費	323万円	豊山小学校に6年生・ 特別支援学級の増設

万円に端数調整をおこなっています。

12月定例会

質疑あれこれ

トピックス

一般質問

研修

追跡

# 地方創生推進交付金が決定

12月定例会

質疑あれこれ

トピックス

一般質問

研修

追跡

## 体験プログラムの開発

### 200万円

県営名古屋空港、FDA、エアポートウォーク名古屋、セコインターナショナルなど事業所と連携し、提供可能な体験プログラムの開発

## 土産品の開発

### 150万円

「ヒコーキのまち とよやま」に関連したグッズなどの開発や販売・PR方法の検討

### 一審議結果一

議案	審議結果	議案	審議結果
専決処分の承認	全員賛成承認	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	全員賛成可決
道路線の認定	全員賛成可決	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	全員賛成可決
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	全員賛成可決	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正	全員賛成可決
児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部改正	全員賛成可決	職員の給与に関する条例の一部改正	全員賛成可決
子ども福祉手当支給条例及び母子・父子家庭医療費支給条例の一部改正	全員賛成可決	平成29年度一般会計補正予算(第4号)	全員賛成可決
町営住宅条例の一部改正	全員賛成可決	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	全員賛成可決
平成29年度一般会計補正予算(第3号)	全員賛成可決	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	全員賛成可決
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	全員賛成可決	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	全員賛成可決
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	全員賛成可決	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	全員賛成可決

◎採決には、議長は加わりません。



# 質疑あれこれ

児童遊園の設置及び管理に  
関する条例の一部改正

平成29年度豊山町  
一般会計補正予算(第3号)

〈民生費〉

平成29年度豊山町介護保険  
特別会計補正予算(第2号)

◎新町児童遊園の廃止は、事

前に自治会に説明があり、地  
域住民の理解は得られた。し

かし、商工会西の駐車スペース、  
タウンバスの車よせのスペー

スを活用し、同地区の産業文  
化会館児童遊園の拡張を希望

する声があるが。

◎相手方のある話なので、答  
弁は差し控えさせていただく。

〈総務費〉

◎地方創生推進事業委託料の  
中身は。

◎A 町内におけるご当地グル  
メに250万円、土産に15

0万円、体験プログラムに2  
00万円、予算を充てる。

◎だが、どのように行うのか。

◎業者委託により行う。ご当  
地グルメは町内飲食店に声を

かけた。土産品は今年度の開  
発を目指す。町が主体として商

工会にも声がけをしよう。

◎障害者福祉サービス給付  
費、障害児通所サービス給付

費の増額の理由は。

◎A 障害者福祉サービスではグ  
ループホームは当初予定の利

用者数が5名から9名となっ  
た。生活介護は、人数は変わ

ないが、利用日数が増えた。就  
労移行支援は利用者数が2名

から4名となった。障害児通  
所サービスでは、放課後等テ

ィサービスや児童発達支援、  
障害児計画相談、すべての分

野で利用者が増加している。

〈教育費〉

◎豊山小学校関係工事費の  
内容は。

◎A 平成30年度に6年生1教  
室、特別支援学級1教室を設

置するための費用。

◎介護予防・生活支援サービ  
ス事業費の増額は新規が増え

たことによるのか、または何  
か特徴的な疾病があるのか。

◎A 平成28年度から総合事業  
が始まり、受給者全員が対象

となったため。また要支援・要  
介護前の予防段階の方々に、

軽い認知症や筋力低下があ  
ると思われる。



▲産業文化会館児童遊園

◎税務総務一般事業の事務職  
員派遣委託料について、どこ  
に派遣社員の委託をするのか。

◎A 近隣市町で実績のある業  
者へお願いした。この業者と

は2年前から契約をしてい  
て、職員が欠員時に派遣を要

請しよう。





# 町民討議会議を訪ねて

平成29年11月19日(日)役場2階会議室で「NPO法人 豊山町まちづくりサポーター(通称まちサポ!)」と町の協働による町民討議会議が行われました。

2000人に案内を送り、参加を希望した方の中から抽選で50人の方を選出。

参加者は、「ヒコーキのまち とよやま」をテーマに8つのグループに分かれ、活発に議論をかさね発表しました。

## 第1ラウンド 「航空館boonを盛り上げよう！」

あいち航空ミュージアムの開館を前に、航空館boonについて強みと弱みを考え、特徴を分析。そして「ファミリー層」を呼び込むための方法について知恵を出し合いました。



## 第2ラウンド 「大地震が来たとき、わたしたちに何ができるか考えよう」



大地震が発生したとき、豊山町はどんな状況になるのか、また町の施策と課題の説明を受けました。災害時に必要なことについて考えを出し合い、問題解決策を考えました。そのあと災害に備えてのキャッチコピー(標語)をつくりました。

- 一例・い(生・活)きる準備してますか？
- ・豊山町1人ひとりが救助隊
  - ・平日頃の絆でのりきれ大災害！

## 第3ラウンド 「町民討議会議で取り上げてほしいテーマと討議会議の感想」

未来の豊山町のために、話し合うべきテーマや今回参加しての感想を各グループが出し合いました。

町民討議会議は、色々な世代からの声を吸い上げるには欠かせない会議です。今回45人の参加者のうち、10代から30代の方が20名でした。若い方のご意見も聞ける貴重な会議となりました。



## 一般質問ラインナップ

12月定例会

質疑あれこれ

トピックス

一般質問

研修

追跡

一般質問とは、町が行っている事業や計画について議員が住民に代わって質問したり要望を伝えたり、今後の町のあり方について議論、提言することである。

12月12日(火)7人が質問に立った。  
一問一答方式で、制限時間は答弁を含み1人60分。

議会だよりには、2問まで掲載

1	安藤 春一	・あの時の街並み再現を ・交通事故のない、犯罪のない町を	P 7
2	岩村みゆき	・LGBTへの理解促進・啓発について ・受動喫煙ゼロを目指そう	P 8
3	栗田 昌子	・徘徊高齢者等見守り対策について ・高齢者へのアンケート結果と福祉計画への反映は	P 9
4	坪井 孝仁	・防災行政無線について ・防犯情報について ・航空館boonについて ・神明地区、土地利用について	P10
5	岡島 政信	・地震による被害減少対策について	P11
6	山本 亮介	・教育費の無償化の観点から、教育にかかる保護者負担の軽減を	P12
7	坂田 芳郎	・航空ミュージアム開館、その身近な恩恵は	P13

◎全文記録(議事録)は、3月上旬に町ホームページに掲載しますのでご覧ください。





Haruichi Ando

安藤春一 議員

12月定例会

質疑あれこれ

トピックス

一般質問

研修

追跡

Q・昔の街並み再現を

A・実現の可能性を検討する



▲昭和50年頃の新栄小学校

先人の営みや財産を一定の形として、連綿と後世に伝えていく。これは行政に課せられた大きな仕事である。

**Q** 指定文化財の現状は。また、富士社の位置づけは。

**A** 教育委員会事務局長 県の文化財2件、町の文化財8件の合計10件が指定されている。

富士社は、町史などから、前方後円墳と推察されるが、出土品が発見されていないため、古墳と特定するのは困難である。

**Q** 文化財研究会、学芸員、長老の意見を聞き取り、古地図や昔の商店街調査資料を参考にし、模型や鳥瞰図という形を作り上げ、昔の街並み再現を強く望む。

風景すら想像出来ないとは、寂しく不幸なことである。

**A** 教育委員会事務局長 40年代まで商店などが多く、にぎわいがあった。当時の資料や写真が少なく、景観などの確認が困難である。

町史編纂を進める中で、実現の可能性を検討する。

**Q**・交通事故のない、犯罪のない町を

**A**・優先度を考慮し整備を進める

**Q** 通学路の整備計画と進捗・状況は。

**A** 教育委員会事務局長 学校・町・関係機関の合同で現地点検をした。優先度を考慮し、来年度から整備を進めていく。

**Q** 幅員4メートル以下の道路は法により、一定のセットバックを義務付けている。駐車場を造る所有者に、類似の行政指導は可能か。

**A** 産業建設部長 建築物のない駐車場は建築基準法が適用されない。

**Q** 住宅の密集により、見通しの悪い十字路等の把握は。土地開発担当部署との連携の方策は。

**A** 総務部長 カーブミラー等の設置をしている。地域振興課と協議して、開発業者には防犯灯等の設置を指示している。

**Q** リサイクル資源集積場所として児童遊園を使用している件数は。照明をLED化する計画は。

**A** 生活福祉部長 集積場所は28カ所、うち児童遊園は10カ所ある。LED化は故障や劣化に合わせて、順次取り換えていく。



一般質問  
**Q&A**

Miyuki Iwamura

岩村みゆき 議員



12月定例会

質疑あれこれ

トピックス

一般質問

研修

追跡

# Q・LGBTへの理解促進・啓発を

## A・研修で理解と知識を深める

**Q** LGBTとは、性的マイノリティの総称で、職場・学校で偏見や差別が横行している事実がある。本町では、差別をなくし、生き方の多様性を認められる社会を目指した取り組みを開始してもらいたい。

**A** LGBTへの取り組みについて、どう考えているか。

**A** 性別にとらわれないことなく、誰もが安心して暮らせる環境づくりを進めることは重要と考える。LGBTの方々への配慮と理解の浸透に努めたい。

**Q** 全職員に対し、啓発や研修を行うことはどうか。

**A** 総務部長  
今後の研修計画で、LGBTに関する

カリキュラムを設定し、職員の理解と知識を深めていく。また、各種媒体を通じた啓発など、検討していく。

**Q** 学校教育における対応は。

**A** 教育長  
LGBTについては、人権教育や道徳諸活動の中で、互いに尊重しあえる人間関係を築くように指導しているが、教員には研修等で理解を深め、悩みや不安を抱える児童生徒には相談活動の充実を図っていく。

LGBTとは、性的少数者の総称のこと。女性同性愛者のレスビアン、男性同性愛者のゲイ、両性愛者のバイセクシャル、心と体の性に違和感を持つたりするトランスジェンダーの頭文字といわれる。

# Q・受動喫煙

## ゼロを目指そう

## A・公布される法令を踏まえる

**Q** 豊山町はCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の割合が多いと結果があるが、原因や要因は。

**A** 生活福祉部長  
COPDは、大気汚染やタバコの有害物質を長期間吸ったために肺に炎症が起きる病気である。タバコが最大の危険因子であるため、タバコによる「肺の生活習慣病」と言われている。本町は、喫煙率が男性、女性とも県内でも高い状況にある。

**Q** 豊山町は高まっている。豊山町はどのように取り組んでいくのか。

**A** 総務部長  
現時点では、国の動向がはつきりと定まっていない。実際に公布、施行される法令の内容を踏まえたうえで、受動喫煙防止に関する対策を講じていきたい。

**Q** 各地で受動喫煙防止の活動が



▲受動喫煙 NO



Masako Awata

## 栗田昌子 議員

12月定例会

質疑あれこれ

トピックス

一般質問

研修

追跡

## Q・QRコードラベルの普及を

## A・状況を見ながら検討する

**Q** 本町の徘徊高齢者対策は。

**A** 生活福祉部長  
GPS端末機を貸し出している。

**Q** 登録者数は。

**A** 生活福祉部長  
1名である。利用を希望する方に貸し出している。

**Q** 利用者の費用負担は。

**A** 生活福祉部長  
1人あたり月額500円である。

**Q** 町の経費は。

**A** 生活福祉部長  
町の負担は、月額税込みで、5940円である。

**Q** 過去3年間の利用者は。

**A** 生活福祉部長  
平成26年度は0名、27年度と28年度は1名であった。

**Q** 高齢者見守りQRコードシールがある。安価で耐久性に富み、色々な物に使用でき、機能的である。私が視察した三重県志摩市の場合は、役所の費用も、作成費用1セット2000円の初期費用のみ。最低2年間使用できる。1000回の洗濯に耐えられるという。利点の多いQRコードシールについて、どのように考えるか。

**A** 生活福祉部長  
QRコードラベルは、衣服などに張り付けするため、GPS端末機を持たせることが困難な認知症高齢者に使用することができ、発見者と家族はお互いに匿名でネットの伝言板上で、居場所等の情報のやりとりができるメリットがある。地域の見守りや支援を得る媒体になる。

**A** 生活福祉部長  
6月議会で「高齢者の足を守る施策」を質問した。これに対し、秋に実施するアンケートの結果を福祉計画に反映すると答弁があった。アンケートの結果と反映は。

**A** 生活福祉部長  
現在、高齢者保健福祉審議会で議論中である。

**A** 生活福祉部長  
本町では、徘徊高齢者を検索するためのメール配信の導入を考えている。

**Q** 本町で採用しているGPSとの併用は。

**Q** 福祉計画のアンケート結果は

### A・現在議論中である



▲志摩市のQRコードシール

一般質問  
Q&A

Takahito Tsuboi

坪井孝仁 議員



12月定例会

質疑あれこれ

トピックス

一般質問

研修

追跡

# Q・戸別受信機の普及を

## A・まず、デジタル化を進めていく

**Q** 防災行政無線の聞き取りやすさの調査の時期と結果は。

**A** 総務部長  
今年度の8月に図上での音達検証を実施し、一部の地区で聞き取りにくい箇所があった。

**Q** 聞き取りにくい地区へ確実な情報伝達をするための取り組みは。

**A** 総務部長  
避難勧告などの緊急性の高い情報は無線に加えて、携帯電話の緊急速報メールなどで補っている。

**Q** 防災行政無線の改修予定はあるか。

**A** 総務部長  
今年度は最適なシステム選択および

運用などを整理し基本計画を策定する。来年度以降、基本計画を基に順次、移動系や同報系の実施設計、デジタル化更新工事を行っていく予定である。

**Q** 確実な情報伝達のため、デジタル化更新工事で戸別受信機の設定も考慮してはどうか。

**A** 総務部長  
戸別受信機のメリットは天候に左右されず屋内で防災行政無線の情報を受けられる。しかし戸別受信機については過渡期であり、規格が統一されていないことや価格競争が働いていないことによりコストがかかる。そのため国の動向を注視しつつ、まずは防災行政無線のデジタル化を進めていく。

# Q・航空館boonの休館日の変更を

## A・火曜日の変更へ検討する

**Q** あいち航空ミュージアムおよびMRJミュージアムの休館日も火曜日に変更してはどうか。

**A** 産業建設部長  
現在、航空館boonは月曜日を休館日としている。あいち航空ミュージアムおよびMRJミュージアムとの連携を図ることから、両ミュージアムの休館日に合わせ火曜日に変更するよう前向きに検討する。



▲月曜日から火曜日へ





Masanobu Okajima

## 岡島政信 議員

12月定例会

質疑あれこれ

トピックス

一般質問

研修

追跡

## Q・感震ブレーカー設置に補助金を

## A・近隣自治体の動向を踏まえ検討

阪神淡路大震災は約22年前の平成7年2月、東日本大震災は6年前の平成23年3月、熊本地震は平成28年4月に発生している。東海地方はいつ発生してもおかしくないとも言われている。そこで愛知県の東海地震を予想したデータを参考に聞く。

**Q** 豊山町は震度6弱では津波・浸水の被害なしと予想されている。町は死者数の試算をどの程度と予想しているか。

**A** 総務部長  
最大クラスの南海トラフ地震が発生した場合の死者数は3名と予想する。

**Q** 家屋の倒壊等  
はどれだけを予想しているか。

**A** 総務部長  
全壊は50棟、半壊は462棟。計512棟と予想する。

**Q** 震度6弱の耐震構造が規定される以前に建てられた家屋数は。

**A** 総務部長  
昭和56年以前に建てられた木造建物は2428棟、非木造建物は698棟。計3126棟である。

**Q** ライフラインの復旧予想は。

**A** 総務部長  
被害の95%が復旧するまでに、上水道は約6週間、下水道は約3週間、電力は約1週間と想定する。

**Q** 阪神淡路大震災と東日本大震災では、家屋の倒壊被害

の他、地震火災による焼失被害がでている。その被害の内、電気関係が要因で発生する被害は約60%弱を占めている。その被害の防止方法に感震ブレーカーの設置がある。設置に向けた補助金制度の検討を。

**A** 総務部長  
導入した場合、揺れと同時に電気が遮

断される。急に電気が止まっても困らないような対策や建物の耐震化等と併せて取り組むことで、感震ブレーカーの設置は効果的となる。感震ブレーカーの補助制度導入は近隣自治体の動向等を踏まえ検討する。

**地震が引き起こす電気火災とは？**  
地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が原因とした時に発生する火災のことです。

**感震ブレーカーとは？**  
感震ブレーカーは、地震を感じると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

**感震ブレーカーを設置して電気火災から「家」「地域」を守ろう。**

**地震による電気火災対策を！**

**感震ブレーカーが効果的です！**

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が電気関係の出火でした。

そのうち  
46%  
電気関係  
(58件)  
54%

▲電気火災対策してますか



## Q・教育費の保護者負担軽減を

## A・補助教材購入は最小限にする

**Q** 豊山町では、補助教材として教科ごとにドリルやテストなどを保護者が負担している。この他にも保護者の負担するものは多い。教育にかかる保護者の負担について、当局としてはどのように認識しているか。

**A** 教育委員会事務局長 学校が要望した補助教材の一部については、町費で購入して児童生徒の保護者の負担を極力少なくしようとする。

**Q** 教育にかかる保護者負担の軽減を図るため、補助教材について町の補助としてはどうか。

**A** 教育委員会事務局長 補助教材は、教科書を捕捉し、学習をより充実させていくために必要なものである。そこで、補助教材の選定は、適切なものが使われるよう、各学校は事前に希望する補助教材を町教育委員会へ届け出ている。また、保護者負担が過大にならないよう、補助教材の使用については、慎重に検討し、購入を最小限にとどめるよう指導している。

また、補助教材費が負担になると思われる生活保護および準要保護世帯については、教育扶助費や就学援助費を支給している。



▲補助教材費への町の補助を



Yoshio Sakata

坂田芳郎 議員

12月定例会

質疑あれこれ

トピックス

一般質問

研修

追跡

Q・全児童に公費で見学会を

A・社会見学で活用したい

本町の名誉・誇りになることも形容できる施設の開館を、真正面から歓迎、祝福したい。ここは素直にお祝いムードに浸って、よろしかりうと思えます。本町として独自の連携施策、さらに町の発展を通じ還元云々などと言う至極当然の事では無く、もつと町民方々の思い・感情・心情に寄り添った、ダイレクトに分かりやすく、皆様が開館の恩恵を「現実」に実感できる施策。これも、この様な場合は必要であると、思慮致します。よって、町の皆様と率直に喜びを分かち合うと言う理念に基づき、お尋ねする。

Q

県営でありながら、入館料の高い施設である。地元自治体として、料金の引き下げを申し入れる考えはないか。

A

産業建設部長  
観覧料は県議会の議決を経て定められたもので本町としては申し入れる考えはございません。

Q

次代を担う本町の全児童・生徒に対する、公費負担による見学会を早急に実施すべきである。この声がありますか。

A

教育委員会事務局長  
社会見学などの教育事業に活用したいと考えており、公費負担による見学会は考えておりません。

Q

住民各位に具体的説得力を持つ「何かしら」の祝い品の配布は。

A

産業建設部長  
オープン祝いを住民の皆様へ配布するとは考えておりません。

Q

県に対し住民の方々の理解と協力に見合った「地元対策」は何か用意・検討しておられるか、確認された事はあるか。

A

産業建設部長  
県の航空機産業振興の核となり、豊山町の地域振興につながるもので、オープンを待ち望んでおりました。関係機関と連携・協力を深めて、産業観光などの振興に取り組みでまいりたいと考えております。



▲あいち航空ミュージアムがオープン



# 住民あつての広報

## 町村議会広報研修会に参加

8月9日(水) 午後1時からアイリス愛知での、第30回愛知県町村議会広報研修会に参加しました。講師は、昨年に続き広報コンサルタントの芳野政明先生。「議会報の役割として、住民への説明責任を果たし信頼関係を築く発信をしなければならない。住民あつての広報である。受け取る側が大切。ただ伝えるだけではなく、伝わるのが重要」と話されました。

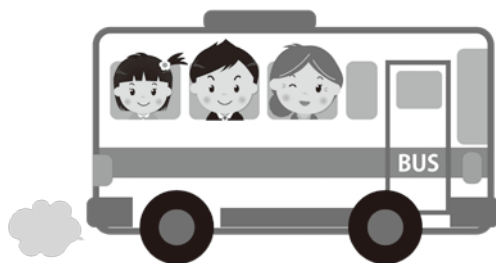
今回も、豊山町は「議会広報クリニック」に挑戦。29年3月定例会議会だよりの添削をお願いしました。結果は、表紙の写真、一般質問の見せ方などが評価されました。見だしのたて方やレイアウトの仕方の課題をいただきました。さらに磨きをかけ、グレードアップしていきたいと思います。



# 市バス社会実験の結果は 閉会中審査 福祉建設委員会

11月9日(木) 県営名古屋空港への名古屋市営バス乗り入れに伴う影響調査について、報告を受けました。

豊山町地域公共交通会議の総合評価は「路線が定着すれば社会実験時よりも、交通需要の増大が見込まれ将来性はある。新路線の設定により、交通アクセスが充実し、全体の公共交通需要の底上げを図ることが可能となる。一方、既設バス路線から一定の転換が予想され、運賃水準の検討が必要となる可能性がある。」でした。



委員から、他のバス路線に対する影響についての質問があり、「調査報告では2~3割あるとしているが、実際はそれよりも少ないのではないかと理解している。ハードルは相当高いと認識しているが、名古屋市営バスの本格運行を要請していく」と答弁がありました。

## 議長交際費

支出月日	区分	内容	金額
5月19日	弔慰	香典	5,000円



# どうなったあの質問

平成28年6月定例会

平成29年9月定例会

## 質問

ハザードマップに記載された一時避難場所の確認を行うと、一部の場所で表示が設置されていない。全箇所設置してはどうか。

## 答弁

平成27年度に指定緊急避難場所と指定避難所を指定した。新たに指定した施設には避難場所の表示を設置していない。全ての避難場所および避難所に日本工業規格で規定された災害種別図記号(ピクトグラム)の表示を設置したい。

## どうなった

指定緊急避難場所36カ所と指定避難所13カ所に新しい表示を設置した。



(旧表示)



(新表示)

## 質問

豊山町を訪ねてみえた人が現在地がわかるという安心感を与えるために各地区の広報掲示板の一角に「住所表示」をしたらどうか。

## 答弁

転入者や来訪者の利便性の向上を図るため、「地区および所在地」の表記設置の準備を進める。

## どうなった

「地区および所在地」の表記の設置を実施。



新しく表示設置

## 議会用語解説

教えて!?  
地空人く〜ん 第10回

定例会とは



条例で定期的に招集される議会のことだよ〜ん。  
豊山町は3月、6月、9月、12月に町長が招集をかけるんだよ。

12月定例会

質疑あれこれ

トピックス

一般質問

研修

追跡



# 翔びたて豊山っ子!

「働く大変さを知る」

水野 友貴

僕は11月14日〜16日の三日間、職場体験学習という大変貴重な体験をさせていただきました。当然働いたことはなく、「働く」というのは簡単なことだと思っていました。実際はそのようなものではありませんでした。

今回の体験では、和菓子を作らせてもらいました。和菓子でパツと思いつくのはどら焼きです。「作るのは簡単」と思っていたが、現実はそのようではありませんでした。大きさを均等に、焼き印もしっかり付けてからお客様に渡す。これだけでもすごく難しかったです。

今回の職場体験学習で、働く大変さを知ることができました。



将来働くとき、この経験を生かしていこうと思います。忙しいときに僕たちのため本当にありがとうございました。

## 春夏秋冬



平成の年号もはや30年となり、平成31年5月より新しい年号に変わる。豊山町も空港のある町から、航空産業の町として、また、あいち航空ミュージアム・MRJミュージアム等を核とした産業観光の町として変貌しつつある。その状況の中、多くの問題に対応すべく議会は当局と協力し、住民生活を守るべき対策を協議しているところである。

昨年、国より地方創生推進事業費の交付を受け、現在、事業の3本柱としてご当地グルメ・土産・体験プログラムの研究開発が進められている。

古き時代を懐かしむ住民の方々も多く、保存できるものは保存しながら、新しい時代に向けた施策を生み出さなければならぬ。

S・O

### 表紙のコメント

町の無形文化財である豊山木遣保存会のみなさんが、あいち航空ミュージアムの開館式典を、伊勢音頭でお祝いしました。

議会の傍聴に来てください

次回定例会の予定

3月5日(月) 開会・議案説明

3月12日(月) 一般質問

3月13日(火) 議案質疑

3月15日(木) 福祉建設委員会

3月16日(金) 総務文教委員会

3月20日(火) 討論・採決・閉会

開始時間は午前9時30分から

(最終日は午後1時30分から)

議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

(委員会については、スペースの都合上4名までとさせていただきます)

ただきます)

### 寄付行為の禁止

議員はお祭りへの寄付や町内会の催しものへ差し入れることを禁止されています。

有権者が求めてもいけません。

ご理解をお願いします。

### 議会広報編集委員

委員長 ▲岩村みゆき

副委員長 ▼山本亮介

委員 ▲大口司郎

委員 ▼岡島政信

委員 ▼坪井孝仁

